

令和3年度事業報告書

1. ミュージアムスクール事業

テーマ 「北方民族の人たちの生活と文化」

内容 小学校への当館学芸員出前学習と北方民族博物館での常設展示観覧及びものづくり体験学習を実施。北方の人たちの生活と文化等について学習した。また、出来上がった作品はロビーに展示し、来館者に見てもらった。

開催日 令和3年11月～令和4年2月

対象 網走市内 7小学校 4年生 228名

その他 (一財)山田記念青少年育成財団から320千円の補助金を受け実施した。

2. シンポジウム事業

第35回北方民族文化シンポジウム網走「大林太良・学問と北方文化研究―大林太良先生没後20周年記念シンポジウム―」

内容 幅広い知識を基盤に神話、日本を含む東アジア、そして北方地域の文化研究を進めてきた当館初代館長・大林太良先生の業績を振り返り、今後の北方文化研究の方向性と展開について検討した。

開催日 令和3年10月16日(土)～17日(日)

会場 当館講堂及びZoomウェビナーによるオンライン開催

発表者 国内外博物館関係者・研究者 11名

参加者 156名(講堂9名 オンライン147名)

その他 網走市から450千円の補助金を受け実施した。また、シンポジウム報告書を刊行し、図書館・大学・博物館等の頒布の予定。関連事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

3. 北方民族博物館「友の会」事業

内容 北方地域の諸民族の文化などについての興味・関心をさらに高めてもらうため、会員を募集し情報を提供した。

北方民族博物館「友の会」発足年月日／平成3年10月1日

①会員募集・個人会員 年会費 3,000円 209名

・法人会員 年会費 10,000円 17社

・終身会員 平成9年度以降募集停止 12名

②各種事業・季刊誌「アークティック・サークル」の発行配布(年4回)

・「友の会だより」の発行配布(年4回)

・「友の会ニュース」の発行配布(年4回)

・北方民族博物館の各種行事案内配布

4. 各種イベント開催事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第12回はくぶつかんまつり、ロビーコンサート2021「青少年のための室内楽の夕べ」及び第32回北方民族博物館開館記念感謝DAY関連事業は中止した。

5. ミュージアムショップ事業

- ・書籍の販売 博物館総合案内、博物館特別展図録、研究紀要、資料目録等の販売を行った。
- ・物品の販売 トナカイ紋様サイフやビーズ付キーリングなど北方地域に関係した商品や網走のお土産品の販売を行った。

6. 北海道立オホーツク公園管理運営事業

北海道の指定管理者として、北海道立オホーツク公園の適切な管理運営業務を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月17日(月)から6月20日(日)まで及び8月28日(土)から9月30日(木)の期間公園の一部施設を臨時休止した。

管理の目標達成状況

- ・利用者数
目標値:105,000人 実績値:111,967人
 - ・有料施設入場者数
目標値: 14,000人 実績値:12,606人
 - ・事故発生件数
目標値:2回以内 実績値:0回
 - ・利用者満足度の向上
目標値:80.0% 実績値:90.0%
 - ・職員の資質の向上を図る研修の実施
目標値:2回 実績値:3回
 - ・年間ボランティア参加者数
目標値:712人 実績値:461人
- 参考業績指標達成状況(2月末現在)
- ・公園利用促進のための自主企画事業
目標値:33事業 実績値:27事業

*120点満点中111点となり、AA「十分に水準を満たしている」との評価になる見込み。

7. 北海道立オホーツク公園自主企画事業

北海道立オホーツク公園の利用促進を図るため、オートキャンプ場等を活用して各種イベントを開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の臨時休止により、中止、変更したイベントがあった。

(1) 大規模イベント事業

テーマ 「てんとらんど大感謝祭2021」
中止

(2) 中規模イベント事業

テーマ 「はじめてのキャンプ体験ツアー」
開催日 令和3年7月22日(木・祝)~23日(金・祝)
参加者 3名

(3) 小規模イベント事業

開催回数 3回 延べ参加者数 296名

内 容 キャンプ場開設期間中の週末に、宿泊者を対象とした各種事業を実施し、利用促進を図った。

テーマ 「オープニングイベント」

開催日 令和3年4月29日(木・祝)

参加者 47名(13組)

テーマ 「クロージングイベント」

開催日 令和3年10月9日(土)

参加者 233名(63組)

テーマ 「てんとらんどオータムキャンプ」

開催日 令和3年10月23日(土)～24日(日)

参加者 16名(8組) アンケート参加者61件

*以下中止とした事業

テーマ 「レザークラフト体験」

開催日 令和3年6月19日(土)

テーマ 「スカイスクリープづくり体験」

開催日 令和3年7月31日(土)

テーマ 「餃子の皮を使ったミニピザづくり体験」

開催日 令和3年8月7日(土)

(4) その他事業

開催回数 24回 延べ参加者数 5,384名

内 容 地元団体及び地域住民等と連携・協力をしながら各種事業を実施し、公園の利用促進を図った。

テーマ 「清涼飲料水等の自動販売機設置」

開催日 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)

テーマ センターハウス内 小上がり休憩スペース設置(無料)

開催日 令和3年11月1日(月)～令和4年3月31日(木)

テーマ 「シーニックの森inてんとらんど」

開催日 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)

※受付は通年。ただし植樹は6月、9月である。

参加者 0名

テーマ 「陶芸教室開催事業」

開催日 令和3年4月2日(金)～令和4年3月31日(木)

利用者 806名

テーマ 「シラカバ樹液の無料配布」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～4月30日(金)
参加者 セルフサービスのため人数をカウントしてません。

テーマ 「空中テント」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～10月9日(土)
参加者 0名

テーマ 「ドッグラン施設の開設」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～令和3年10月10日(日)
参加者 731名(463匹)

テーマ 「物品販売(売店設置)サービス」
開催日 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
※センターロッジ売店は、キャンプ場開設期間実施

テーマ 「センターハウス研修室の活用」
開催日 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
利用者 291名

テーマ 「子育て支援事業(ロッジでDayキャンプ)」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～令和3年10月10日(日)
参加者 5名(1棟)

テーマ 「キャンプ場宅配サービス」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～令和3年10月10日(日)

テーマ 「レンタル事業」
①キャンプ用品レンタル事業
開催日 令和3年4月29日(木・祝)～令和3年10月10日(日)
②歩くスキー用具・ソリレンタル事業
開催日 令和4年1月4日(火)～令和4年3月21日(月・祝)

テーマ 「子供花植え教室」
開催日 令和3年6月4日(金)
参加者 5名

テーマ 「ノルディックウォーキング教室」
開催日 令和3年6月27日(日)～令和3年10月24日(日)計13回
参加者 224名

- テーマ 「パークゴルフ大会」
①第21回天都の杜パークゴルフ大会
開催日 令和3年6月27日(日)
②第12回天都の杜チャンピオンシップ
開催日 令和3年10月31日(日)
参加者 138名(①70名 ②68名)
- テーマ 「期間限定!コネクトリップでいろいろ体験」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)~令和3年10月10日(日)
参加者 0名
- テーマ 「流水硝子館での物づくり体験」
開催日 令和3年4月29日(木・祝)~令和3年10月10日(日)
参加者 0名
- テーマ 「自然観察会」巣箱清掃&野鳥観察会
開催日 令和3年10月30日(土)
参加者 2名
- テーマ 「歩くスキーコース開設」
開催日 令和4年1月4日(火)~令和3年3月21日(月・祝)
参加者 1,357名
- テーマ 「そりコース開設」
開催日 令和4年1月4日(火)~令和4年3月21日(月・祝)
参加者 1,614名
- テーマ 「歩くスキーサークル結成」
開催日 令和4年1月8日(土)~令和4年2月26日(土)
参加者 147名
- テーマ 「歩くスキーの集い」
開催日 令和4年2月20日(日)
参加者 37人(うち関係者14人)
- テーマ 「歩くスキーワックス掛けサービス」
開催日 令和4年2月20日(日)
参加者 23人(30組 ※公園所有のスキー用具含む)
- テーマ 雪崩救助講習会
開催日 令和4年3月18日(金)
参加者 4名
- *以下中止とした事業
テーマ 「宿根草を育てよう!セミナー」
開催日 令和3年5月29日(土)

テーマ 「初めての歩くスキーツアー」

開催日 令和4年1月15日(土)

テーマ 「ネイパル北見との協働事業」

開催日 令和4年1月29日(土)、2月13日(日)

8. 北海道立北方民族博物館管理運営事業

(1) 北海道教育委員会の指定管理者として、北海道立北方民族博物館の適切な管理運営業務を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月18日(火)から6月20日(日)まで、及び8月27日(金)から9月30日(木)までの期間臨時休館した。

管理の目標達成状況

・特別展示の実施回数

目標値:5回

実績値: 7回

・常設展示、特別展示の観覧者数

目標値:42,300人

実績値: 27,963人

・北方文化に関する教育普及事業の参加者数

目標値:4,000人

実績値: 2,256人

・博物館等との連携、協力事業の実施

目標値:10回

実績値: 17回

・利用者満足度の向上

目標値:80%

実績値: 96.0%

・職員の資質の向上を図る研修の実施

目標値:2回

実績値: 9回

*120点満点中106.5点となり、AA「十分に水準を満たしている」との評価になる見込み。

(2) 教育・普及事業

北方地域の諸民族に関する知識と理解を深めるため、講座・講習会等をリモート講座やオンライン講座を取り入れながら開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことにより開催日の変更や、中止した事業があった。

・一般対象講座、講習会

開催回数 21回 延べ参加者数 303名

テーマ 映像上映会「北方民族博物館シアター 夏」

開催日 令和3年6月26日(土)

講師 野口 泰弥(当館学芸員)

参加者 7名

テーマ 解説会「ロビー展解説会」

開催日 令和3年6月27日(日)

講師 野口 泰弥(当館学芸員)

参加者 16名

テーマ 講演会「トナカイとの暮らしーモンゴルの森で」
開催日 令和3年7月17日(土)
講師 西村 幹也氏(NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ
理事長)
参加者 9名

テーマ 講座「特別展解説講座」
開催日 令和3年7月31日(土)
講師 中田 篤(当館主任学芸員)
参加者 5名

テーマ 館長講座「シベリアのトナカイ遊牧民コリヤークーフールドワー
クの25年と館所蔵の民族資料について」
開催日 令和3年8月8日(日) (リモート講座)
講師 呉人 恵(当館館長)
参加者 12名

テーマ 講座「西シベリアの働き者:トナカイの飼育とイヌ」(リモート・オン
ライン講座)
開催日 令和3年8月28日(土)
講師 大石 侑香氏(神戸大学講師)
参加者 26名

テーマ 講座「ロシアのトナカイ牧畜」(リモート講座・オンライン講座)
開催日 令和3年9月11日(土)
講師 吉田 睦氏(千葉大学教授)
参加者 26名

テーマ 上映会「西シベリアの働き者:トナカイの飼育とイヌ」
開催日 令和3年10月3日(日)
講師 大石 侑香氏(神戸大学講師)
参加者 10名

テーマ 上映会「ロシアのトナカイ牧畜」
開催日 令和3年10月3日(日)
講師 吉田 睦氏(千葉大学教授)
参加者 10名

テーマ 講座「特別展解説会」
開催日 令和3年10月10日(日)
講師 中田 篤(当館主任学芸員)
参加者 6名

テーマ 上映会「北方民族博物館シアター 秋」
開催日 令和3年10月10日(日)
講師 中田 篤(当館主任学芸員)
参加者 8名

テーマ 講座「日本調査隊のアラスカ考古学への寄与」
開催日 令和3年10月31日(日)
講師 岡田 淳子氏(当館元館長)
参加者 18名

テーマ 講座「ロビー展解説会」
開催日 令和3年11月13日(土)
講師 野口 泰弥(当館学芸員)
参加者 5名

テーマ 講習会「ヒンメリづくり」
開催日 令和3年11月28日(日)
講師 山本 睦子氏(ヒンメリ作家)
参加者 12名

テーマ 講習会「サミのひも織り」
開催日 令和3年12月11日(土)
講師 笹倉 いる美(当館学芸主幹)
参加者 12名

テーマ 講座「ロビー展解説会」
開催日 令和4年1月9日(日)
講師 出品者4名
参加者 18名

テーマ 講座「ロビー展解説会」
開催日 令和4年1月16日(日)
講師 種石 悠(当館学芸員)
参加者 4名

テーマ 講座「土器から見た擦文文化の地域間交流と道東部の遺跡群」
(リモート講座)
開催日 令和4年1月23日(日)
講師 榊田 朋広氏(札幌市文化財調査員)
参加者 14名

テーマ 講座「ニヴフ語とその話し手たち」(オンライン及び講堂)
開催日 令和4年2月6日(日)
講師 白石 英才氏(札幌学院大学教授)
参加者 62名(オンライン49名、講堂13名)

テーマ 講座「企画展解説講座」
開催日 令和4年3月6日(日)
講師 山田 祥子(当館学芸員)
参加者 18名

テーマ 講座「北方民族の威信財をめぐって」
開催日 令和4年3月20日(日)
講師 野口 泰弥(当館学芸員)
参加者 5名

*以下中止した事業

テーマ 講座「ロビー展解説会」

開催日 令和3年5月1日(土)
講師 山田 祥子(当館学芸員)

テーマ 上映会「北方民族博物館シアター 春」

開催日 令和3年5月2日(日)
講師 笹倉 いる美(当館学芸主幹)

テーマ ゴールデンウィークイベント

開催日 令和3年5月3日(月・祝)～5日(水・祝)
講師 当館職員

テーマ 講座「古代岩画に魅せられた人々～シカチ・アリアンのナーナイと
観光者」

開催日 令和3年5月16日(日)
講師 井出 晃憲氏(稚内北星学園大学准教授)

テーマ 講座「ラポロアイヌネーションのこれまでとこれから」

開催日 令和3年6月13日(日)
講師 持田 誠氏(浦幌町立博物館学芸員)

テーマ 講習会「初めての歩くスキーツアー」

開催日 令和4年1月15日(土)
講師 中田 篤(当館主任学芸員)

テーマ 開館記念感謝DAY

開催日 令和4年2月11日(金・祝)
講師 当館職員

・児童・生徒対象講座・講習会

開催回数 11回 延べ参加者数 108名

テーマ はくぶつかんクラブ「動物刺繍のマイバッグ」

開催日 令和3年4月17日(土)
講師 石原 生久代(当館解説員)

参加者 14名

テーマ はくぶつかんクラブ「皮でつくるタオル掛け」

開催日 令和3年7月3日(土)
講師 菅原 章子(当館解説員)

参加者 6名

テーマ はくぶつかんクラブ「フィンランドのアウトドアゲーム モルックで
遊ぼう」

開催日 令和3年7月10日(土)
講師 菅原 章子(当館解説員)

参加者 8名

テーマ はくぶつかんクラブ「シラカバの皮のウォールポケット」
開催日 令和3年7月24日(土)
講師 平栗 美紅(当館解説員)
参加者 9名

テーマ はくぶつかんクラブ「ビーズ織りで作るキーホルダー」
開催日 令和3年8月7日(土)
講師 平栗 美紅(当館解説員)
参加者 11名

テーマ はくぶつかんクラブ「北方民族の太鼓をつくろう」
開催日 令和3年10月2日(土)
講師 菅原 章子(当館解説員)
参加者 10名

テーマ はくぶつかんクラブ「まが玉づくり」
開催日 令和3年10月9日(土)
講師 塩谷 舞(当館解説員)
参加者 14名

テーマ はくぶつかんクラブ「紙ストローで作るヒンメリ」
開催日 令和3年11月27日(土)
講師 山本 睦子氏(ヒンメリ作家)
参加者 13名

テーマ はくぶつかんクラブ「オホーツクの森のガーランド」
開催日 令和3年12月4日(土)
講師 石原 生久代(当館解説員)
参加者 13名

テーマ はくぶつかんクラブ「かんじき体験」
開催日 令和4年1月22日(土)
講師 野口 泰弥(当館学芸員)
参加者 1名

テーマ はくぶつかんクラブ「バスケットづくり」
開催日 令和4年3月19日(土)
講師 塩谷 舞(当館解説員)
参加者 9名

*以下中止した事業

テーマ はくぶつかんクラブ「北方の言語で遊ぼう」
開催日 令和4年2月19日(土)
講師 山田 祥子(当館学芸員)

・学校や各種団体等を対象とした講座、講習会
開催回数 49回 延べ参加者数 1,689名

(3) 資料収集・展示事業

北方地域の諸民族に関する歴史や文化に関する資料を収集するとともに、所蔵資料と合わせ効果的に資料の展示を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことにより会期を変更するなどして実施した。

常設展示 北方地域の諸民族に関する資料を展示した。

会 期 令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)

*5月18日(火)から6月20日(日)まで、及び8月27日(金)から9月30日(木)まで臨時休館

観覧者 15,769名

ロビー展 「A.Vスモリヤーク写真展 ロシアの民族学者がみた1950年～70年代のナーナイの暮らし」

会 期 令和3年4月24日(土)～令和3年5月23日(日)

内 容 ロシアの民族学者A.Vスモリヤーク氏が1950年～70年代にかけてアムール川流域で行った調査で撮影したナーナイの写真と関連する民族資料を紹介した。

観覧者 1,003名

移 動 展 「北方民族の釣針」

会 期 令和3年4月28日(水)～令和3年7月11日(日)

会 場 斜里町立知床博物館

内 容 当館が所蔵するシベリアや極北、北アメリカの釣針を展示し、北方民族の漁労の一端について紹介した。

観覧者 306名

ロビー展 「アイヌ民族の現在①ラポロアイヌネイション」

会 期 令和3年6月22日(火)～令和3年7月4日(日)

内 容 近年、道内でも先駆的な活動を行っているラポロアイヌネイション(旧浦幌アイヌ協会)の現在の取組について紹介した。

観覧者 695名

特 別 展 「トナカイと暮らすタイガの遊牧民たち」

会 期 令和3年7月17日(土)～令和3年10月17日(日)

内 容 ユーラシア大陸北部で広く先住民の生業として営まれてきたトナカイ遊牧は、自然環境や携わる民族集団によって地域ごとに多様な展開をみせてきました。本展では、シベリア東部から南部にかけてのタイガ(北方針葉樹林帯)地域に広がるトナカイ遊牧文化について紹介した。

観覧者 3,555名

ロビー展 「写真で振り返る日本のアラスカ調査」
会 期 令和3年10月30日(土)～令和3年12月12日(日)
内 容 岡田宏明当館第2代館長、岡田淳子当館第4代館長が長
年にわたり撮影したアラスカ調査写真により、日本によるア
ラスカの人類学的・考古学的調査の軌跡と、アラスカ先住民
の文化について紹介した。
観覧者 2,188名

ロビー展 オホーツクシリーズ15「北の状景から」
会 期 令和4年1月4日(火)～令和4年1月23日(日)
内 容 オホーツク地域に暮らすカメラ愛好家の方々が撮影したオ
ホーツク地域の写真を展示し、地元の魅力を紹介した。
観覧者 511名

ロビー展 「道東の擦文文化」
会 期 令和4年1月4日(火)～令和4年1月23日(日)
内 容 これまで当館で調査を行った、能取岬西岸遺跡をはじめと
する道東の遺跡から出土した擦文文化期の資料を紹介し
た。
観覧者 511名

企画展 「ウイлтаのモノとコトバ サハリン先住民のコスモロジー」
会 期 令和4年2月5日(土)～令和4年3月27日(日)
内 容 サハリン島の少数民族ウイлтаの民族資料とウイлта語と
の結びつきを中心に、ウイлтаの生活や文化を紹介した。
観覧者 3,559名